

科目コード	F1912	開講学期	秋期	単位数	2	一般聴講	可	LA聴講	可	
授業科目名	生涯発達論 F									
Course Title	Life Developmental Psychology									
担当教員	溝端 光雄						責任教員	溝端 光雄		
曜限:日程	金1									
対象学年	1年	必修	2年	—	3年	—	4年	—	重複履修	—

授業のねらいと到達目標

生涯発達論（秋期）は、青壮年期から死に至るまでの心身機能の変化とその維持増進に関する講義です。生理学・心理学・老年学・工学などの基礎知識を基に、人の老化とその遅延に関する個人的対応や社会的対応について12回にわけて講義します。

授業計画・春期

授業計画・秋期

各回の講義内容は次のとおりです。

1. 世界と日本の高齢化、
2. 発達の概念と統計量(平均・分散)の見方、
3. 関係の推定(単回帰)、
4. 関係の推定(重回帰)、
5. 筋肉の老化と維持、
6. 輪読（歩行速度の計測と考察）、
7. 眼の老化と維持、
8. 耳の老化と維持、
9. 骨・関節の老化と維持、
10. 脳の老化と維持、
11. Ultra高齢社会への対応と課題、
12. 輪読(住宅立地モデルの実証分析)。

なお、講義ではパワーポイントを使い、当該ファイルを講義時に毎回配布します。

評価方法

成績は、試験80点（40問×2点）と、出席20点（出席10回以上を20点）の合計で評価させていただきます。

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

義時に毎回、パワポのスライドファイルを配布し、それを資料として講義します。

参考文献

参考文献は、前記したパワポのS Lの中に掲げます。関心のある方は参考にして下さい。

学生に望むこと・その他

皆さんの心身に生じる加齢変化を知り、その抑止に努めること、論理的に考えることの大切さを学んでほしい。質問や感想は、随時受け付けますので、遠慮なく申し出て下さい。

履修要件